

|      |          |
|------|----------|
| 教科名  | 国語       |
| 科目名  | 古典探究（古文） |
| グレード | 全クラス     |
| 単位数  | 2単位      |
| 対象学年 | 高校2年     |

|        |   |
|--------|---|
| 科目の概要  | 古文を学ぶ意義を確認し、歴史の中に人間を探るという古典学習の基本的態度を養う。また、和歌の叙情的な美しさを味わう。   |
| 科目の目標  | 「源氏物語」の読解ができるようになる。＝大学入試に対応できる力をつける。つまり、学習した文法事項と古典常識を考え合わせて、大学入試レベルの文章の文脈がとれるようになる。具体的には ①古語の敬語法を習得する。②単語帳1冊をマスターする（2周目なので、下の「関連語」も覚える）。③和歌の役割や修辭法を理解する。④作品が書かれた当時の文化や習俗を理解する。   |
| 使用教科書  | 『古典探究 古文編』（筑摩書房）  |
| 使用副教材  | ①単語：『古文単語330』（いいずな書店）<br>②模試対策：『速読トレーニング基礎』（数研出版）年3回の進研模試前の1か月間、授業の初めの10分間を使って実施。解説はなし。生徒は問題冊子をロッカーに保管、解答はその都度配布（解答のみバラ注文）。<br>③辞書：「ベネッセ古語辞典」   |
| 評価の方法  | 定期考査（年4回）、平常点、及び授業の出席状況・積極性などを総合的に見て評価する。   |
| 学習の方法  | 【予習】毎時の終了時に指示された範囲（教科書5～6行分）について、音読し、できる限り大意を把握し、現代語訳を作る。そのために、文法書や辞書等を使い、助動詞・重要古語を調べておく。（慣れてくれば、約30分でできるようになる。）<br>【授業時】①音読をする。身体で覚えたことは記憶に残りやすい。②自分の作ってきた解釈と、友達の作ってきた解釈が合っているかの確認をする。また、指導者の助言もふまえて、正しい解釈ができていないかの確認をする。③指導者が発する質問（他の生徒への質問も含めて）に答えることができるかの確認をしながら、作品についての理解を深めていく。<br>【授業後】授業で初めて理解したことについての復習をする。また、テスト前に復習できるように、ノートを整理しておく。（10分～15分程度） |
| 生徒への一言 | 古文は高校2年終了時で新出の文法や単語おおよその学習は終わり、高校3年では授業時間での問題演習も増える。ゆえに、高校2年終了時までには文法や重要単語が身につけていることが目標である。【毎時間前の30分の予習＋授業＋10分の復習】のサイクルを意識してほしい。また同時に、初見の速読問題の文章に取り組み、多読や速読の練習を行うことも肝要である。  |

| 月    | 授 業 予 定   |
|------|---|
| 4月   | ①敬語の学習プリント 尊敬語・謙讓語・丁寧語の理解 ②『枕草子』「中納言参りたまひて」文法事項・枕草子文学史・平安中期の女房文学の隆盛について ※単語帳より文学史   |
| 5月   | 5月下旬 前期中間考査   |
| 6月   | ①『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」文法事項・白居易について ②『枕草子』「すさまじきもの」文法事項・平安時代の中流貴族の官位官職について ③『大鏡』「雲林院にて」（冒頭のみ）・「花山院の出家」文法事項・大鏡の語りの構造について・摂関政治について ※単語帳より文学史（上代・中古） |
| 7月   |   |
| 8・9月 | 9月下旬 前期期末考査   |
| 10月  | ①『大鏡』「花山院の出家」文法事項・十干十二支について ②『蜻蛉日記』「嘆きつつ」文法事項・和歌の修辭法・通い婚について・和歌の贈答について ※単語テスト第13回～18回 ※単語帳より文学史（中世）   |
| 11月  | 11月下旬 後期中間考査  |
| 12月  |   |
| 1月   | ①『源氏物語』「光源氏の誕生」文法事項・「源氏物語」について・平安時代の後宮について・長恨歌について ②『源氏物語』「若紫の君」文法事項・垣間見について ※単語帳より文学史（近世）  |
| 2月   | 2月下旬 後期期末考査   |
| 3月   | ☆『源氏物語』「若紫の君」   |